

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	岡崎 靖	作品名	Triangle
-----	------	----------	------	-----	----------



○動機・目的

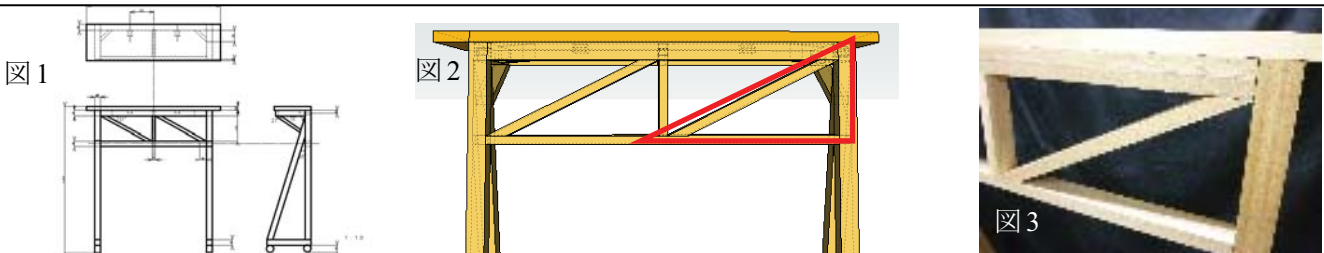
私は、下宿先のアパートで自炊をしているが、カウンターが狭く、調理を同時にすることが難しく困っている。そのため、同時に調理できるように食器等を置いておけるような背の高いサイドテーブルがほしいと思っていた。しかし、大学では木材を使って作品を製作する機会が多くあったが、金属等とは異なり、木製の背の高いテーブルは部材が多く、不安定になりやすいために製作は難しいと考えていた。そこで、今回シンプルで丈夫な構造を設計することと角材を丁寧に加工することに必要なスキルアップを目的とし、木製の背の高いテーブル製作を試みようと考えた。

○利用方法

調理する際のサイドテーブルとして利用する。

○スキルアップしたことのアピールポイント

その1 設計について CAD ソフトを利用して正確に設計図にあらわすことができた。(図1) また、一般的に知られている丈夫な構造である三角形の構造(図2)を自分の製作品に取り入れて、製作することができた。(図3)



その2 ほぞ接合について 今回の製作品(全15ヶ所)でほぞ接合を取り入れた。その内の一例を示す。(図4) ここでは、角のみ盤によるほぞ穴の加工(図5)や昇降丸のこ盤のほぞ取り装置によるほぞの縦びき作業(図6)に挑戦し、手加工でしか経験がないほぞ接合を繰り返し機械加工することで、ほぞ接合に関する機械加工のスキルを習得することができた。



その3 隅木について 一般的に天板の支えとしてテーブルの脚組みの直角と強度を保つために隅木を利用していることから、隅木を製作品に取り入れてみた。(図7) 台形の「隅木」を製作し、製作品の直角と強度を保つことができた。(図8)

